

# 夢きありⅡ

## ふくしまジュニアチャレンジコンテスト銅賞受賞

「第1回小中学生町づくり大賞（ふくしまジュニアチャレンジ）」の審査結果が福島民報新聞(2/4付)に掲載され、本校6年生の取り組みが銅賞に選出されました。

6年生の活動については、学校だよりで何度も紹介しているとおりで、去年の春から「高郷町 PR 作戦」として、パンフレット作成から始まり鶴ヶ城や東京浅草での PR 活動、全国少年少女チャレンジ創造コンテストにおいてのタカサトカイギユウ PR と1年をとおして高郷町のよさを発信し続けてきました。

そして、12月に「第1回ふくしまジュニアチャレンジコンテスト」が実施されることを知り活動してきたことをまとめ応募したところ、今回の受賞となりました。6年生にとって1年間自分たちが取り組んできたことが、こういった形で評価されたことは大きな自信につながると思います。これまで、支えてくださった保護者の皆様、地域の方々に感謝申し上げます。

授賞式は、2月9日(日)福島市で行われます。

★  
銅賞  
高郷小6年生  
喜多方

オリジナルパンフレット  
を作成した高郷小6年生



喜多方市高郷町の自然、文化、食について調査研究し、パンフレットにまとめた。修学旅行先などで配布し、PR活動を繰り広げた。県天然記念物のアイツタカサトカイギユウをモデルにしたロボットも製作した。

受賞の取材を受けた6年生

## 豆まき集会 追い出したい鬼は？

2月3日(月)節分の日に合わせて「豆まき集会」を行いました。運営委員会の児童による豆まきについての話しでは、豆まきは、「魔を滅する」から豆をまくことになり、その豆は、生の豆だと豆から芽が出てしまい良くないので、炒った豆を使うことが紹介されました。

その後、各学年の代表児童による追い出したい鬼の発表がありました。「さぼり鬼」「めんどくさがり鬼」「おこりんぼ鬼」いろいろな鬼が出てきました。

そして、最後は年男・年女の児童による豆まきを行いました。今年1年、子ども達に災いが起きないことをみんなでお祈りしたいですね。



豆をまく年男・年女の児童

## 高郷なわとびチャレンジ

2月1日(土)は、当初予定していたスキー教室が雪不足のため中止になったので、「高郷なわとびチャレンジ」として縦割り班対抗のなわとび大会を行いました。子ども達が体を動かすことができ楽しめるものはないか考えて、体育委員会の児童を中心に実施しました。内容は縦割り班でのチーム戦として実施したので応援の声も大きく、とても盛り上がりました。また、なわとびは11月から業間の時間に体力向上の一環として取り組んできたので、その成果も見ることができました。2月末にも縦割り班での長縄跳び大会が予定されていますので、練習に取り組んでいきます。



長縄跳びに挑戦する子ども達

